HOPE

HA25110

ホープＲＤ－７型
減圧弁
取扱説明書

（株）横 井 機 械 工 作 所

〒463-0002　名古屋市守山区中志段味大洞口 2720-1
TEL.052-736-0773　FAX.052-736-0258

目　　次

１．購入時の点検・確認、概要、仕様　・・・・１

２．フロー図、使用条件、作動、
　　圧力調整、保守・点検　・・・・２

３．構造図　・・・・３

この度はホープＲＤ－７型減圧弁をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
充分な性能を満足していただくため、また安全及び保守・点検等のためこの取扱明書を
よくお読み下さいますよう、お願い申しあげます。
この取扱説明書は施工業者様はもとよりエンドユーザー様まで確実にお届け下さい。

購入時の点検確認

ご注文通りの製品かどうかご確認下さい。また輸送中の破損等の有無を点検して下さい。

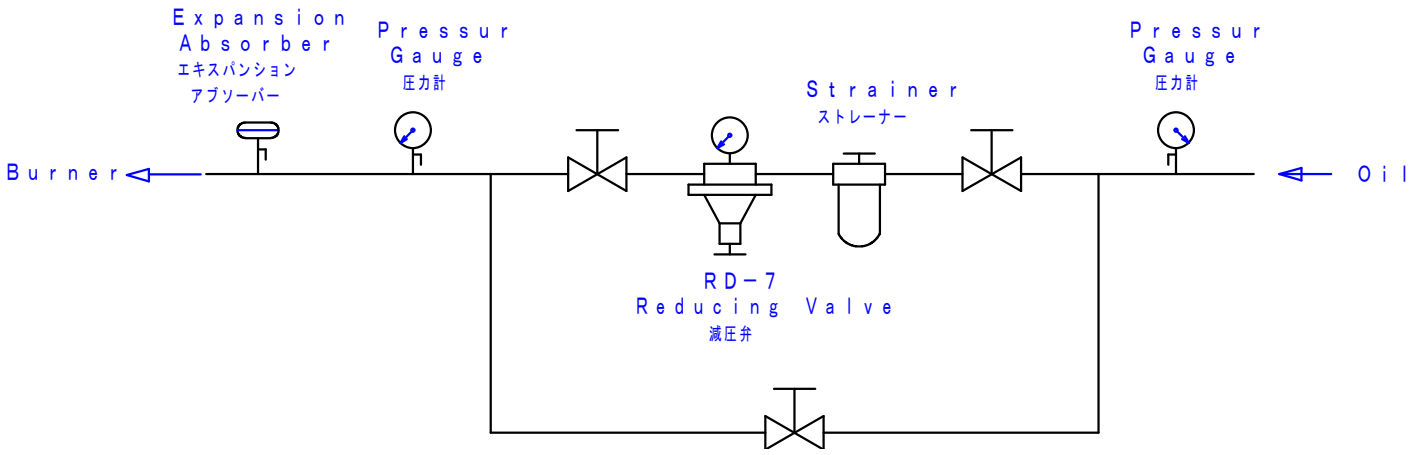
概　要

ホープＲＤ－７型減圧弁は、オイルバーナーへの供給圧を一定に保つ油圧調整弁です。
特にバーナー使用時においての湯量の変化に対して圧力制御性が優れている為、
バーナー用減圧弁として適しております。

仕　様

適用流体	燃料油
一次側適用圧力	1.0MPa 以下
二次側調整圧力範囲	0.01～0.08、0.08～0.2、0.2～0.3MPa
最大減圧比	20：1
締切昇圧	0.01MPa
流体温度	5～120℃
流体粘度	700cSt 以下
許容漏洩量	0
端接続	JIS　Rc ねじ
材質	本体(FC)、弁体・弁座(C3604)、ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ(C5212P)
本体耐圧試験	水圧にて 1.5MPa

基本フロー図



使用条件

1、バイパス管は必ず設けて下さい。
2、一次側、二次側共必ず圧力計を取付けて下さい。
3、減圧弁は水平配管に垂直に取付けて下さい。
4、弁入口側にはストレーナを取付けて下さい。
5、配管取付け後、減圧弁に無理な力（配管質量）がかからないよう注意して下さい。
6、保守・点検の為、減圧弁上下には十分な空間を設けて下さい。
7、減圧弁の二次側でオイルを止める場合は、熱によるオイルの膨張により圧力が上昇する可能性がある為、エキスパンションアブソーバ等を使用して下さい。

作動

減圧弁を正常に取付け流体を流すと、流体は弁体を開く方向に働き二次側に流れます。
二次側に流れた流体は、ダイヤフラムに圧力を加え、弁体を閉じる方向の力として働き、バネ荷重と釣合って二次側圧力を一定に保ちます。

圧力調整

＊出荷時には圧力の調整はしておりませんので、現地で圧力の調整を行って下さい。

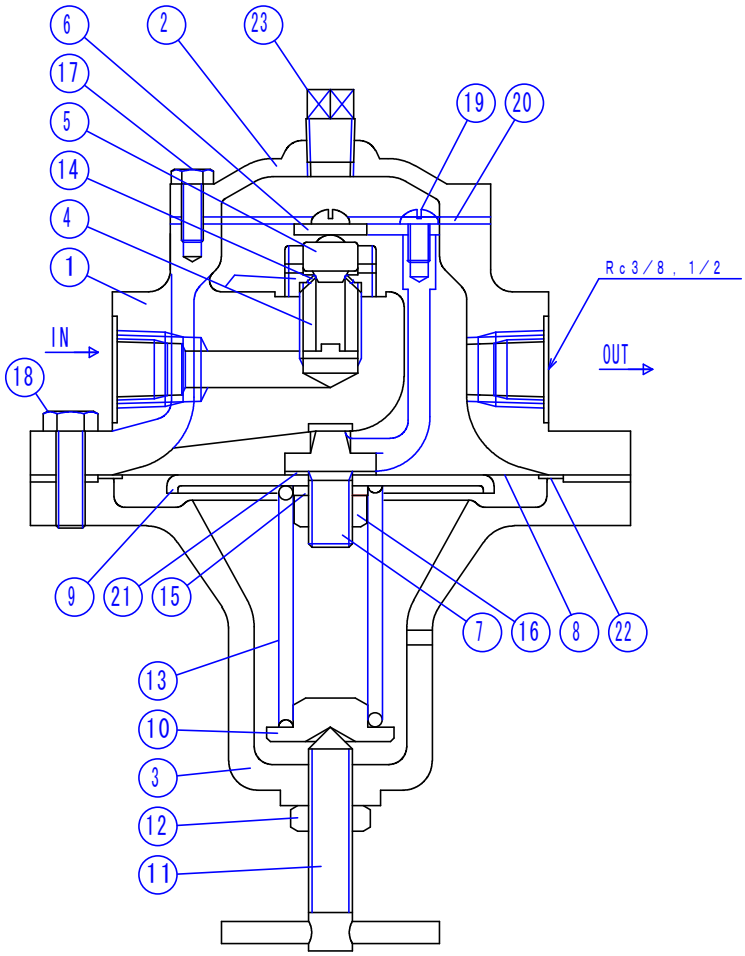
1、調節ネジのロックナットをゆるめて下さい。
2、調節ネジを右に回転させると二次側の圧力が上がるので、圧力計を見ながら目的の設定圧力に調整して下さい。
3、圧力の調整が出来たら、調節ネジが回らない様にハンドルを押さえ、ロックナットを締めて調節ネジを固定して下さい。

保守・点検

減圧弁は、使用中にスケール、塵埃等により二次側の圧力の上昇や降下(流量不足)等の故障が生じる事があります。日常の運転時には、外部漏れ、圧力制御の状態を点検して下さい。

構 造 図

ＲＤ－７　減圧弁



No,	部品名	個数
1	本体	1
2	カバー	1
3	保護筒	1
4	弁座	1
5	弁体	1
6	ブリッジ	1
7	ヨーク	1
8	ダイヤフラム	1
9	ダイヤフラム受	1
10	バネ受	1
11	調節ネジ	1
12	ロックナット	1

No,	部品名	個数
13	調節バネ	1
14	Ｏリング	1
15	バネ座金	1
16	ナット	1
17	ボルト	6
18	ボルト	12
19	小ネジ	2
20	ガスケット	1
21	ガスケット	1
22	ダイヤフラム保護板	1
23	プラグ	1